

令和4年度 第2回 新庄インターチェンジ付近道の駅検討会会議録

日 時 令和5年3月22日
午後3時～3時40分
場 所 新庄市民プラザ
3階 小ホール

出席委員

新庄市長（会長） 山尾 順紀 金山町長 佐藤 英司 最上町長 高橋 重美
舟形町長 森 富広 真室川町長 新田 隆治 大蔵村長 加藤 正美
鮭川村長 元木 洋介 戸沢村長 加藤 文明
新庄商工会議所会頭（副会長） 柿崎 力治朗
もがみ北部商工会会長 高橋 智之 もがみ南部商工会会長 佐藤 隆
国土交通省東北地方整備局 山形河川国道事務所長 橋本 裕樹
山形県最上総合支庁長 泉 洋之 山形県県土整備部長 小林 寛

1. 開会

会長挨拶

新庄市長）今回のインターチェンジ付近道の駅検討会についてであります。昨年10月に開催した検討会で指示した内容等について検討を進めていただきました。この度の第2回検討会においては、作業部会での検討内容を共有した上で、事例紹介を行い、候補地、令和5年度のスケジュール、負担割合について協議をお願いします。今回は、決定を行うことよりは、共通認識を持つということを主眼に置くものと考えております。また、報道機関の皆様に同席していただいておりますが出来れば検討の進捗状況等について住民や関係団体の皆様に周知いただきたくお願い申し上げます。

令和5年度に繋げるためにも、ご協議よろしく申し上げます。

2. 副会長の選出について

副会長：元木鮭川村長

3. これまでの経過報告及び本日の協議事項について

資料に沿って事務局より説明。

4. 事例紹介

資料に沿って事務局より説明。

舟形町長）鶴岡市の事例について、日本海沿岸東北自動車道の延伸に沿って計画している事業だと思っておりますが、延伸が完成する時期若しくは鼠ヶ関ICの完成する時期は何年か分かりましたら教えて下さい。

事務局) 資料を持ち合わせていないため、すぐのお答えはできません。後ほどお知らせさせていただきます。

新庄商工会議所会頭) 皆さんにイメージを共有する意味で考えていることをお示しすると、場所は候補地の①を考えています。盛土の量は50～60万m³かかります。自動車専用道路までの高さをイメージしております。その土について、山形河川事務所で相当の工事の発生土を持っており、新庄河川事務所でも常に10万m³ほどあるので、その土を出来ればタダでいただければ大変ありがたいと思っております。整備運営方法については、鶴岡市と同じ「DBO方式」として公設民営をお願いできればと思います。

議長・新庄市長) 候補地について話が出ましたので、協議に進みます。

5. 協議

(1) 候補地について

資料に沿って事務局より説明。

議長・新庄市長) 事務局から5つの候補地を提示し、それぞれの特徴などについて説明させていただきました。今後、作業部会等で再度検討をし、どこに決定するかというようなことを協議したいと考えております。

商工会議所さんからは、候補地①だのご提案があったわけですが、提案は提案としてこの中に組み入れて今後検討するということがいかがでしょうか。

新庄商工会議所会頭) 事務局側との認識とずれがあるように感じます。候補地①については、乗入道路の高さまで盛るということです。事務局案では既存の道路から乗入れするイメージですが、高規格道路の乗入れ道路から入れる、あるいは乗入道路を作っていただくというイメージです。そのように訂正をお願いしたいです。

議長・新庄市長) 高規格道路まで盛って、そこから乗入するという点について、新庄市都市整備課のほうで、その乗入道路の設置の可否について、国に問い合わせたところです。可能かどうかについて、結論は出ていなく、すぐは出せないということ、構造上の問題があること、公安委員会の許可とかについてもかなり時間がかかるということをお聞きしております。

ですので、絶対この場所がいい、ここしかないということであれば、これまでの検討の内容を無しにして、候補地①の場所で可能かどうかを国交省に確認してからでなければこの協議は前に進まないと考えます。皆様いかがでしょうか。

新庄商工会議所会頭) それはそれで結構だと思います。それでないと採算性が取れないと思っております。

議長・新庄市長) 採算性を取れるか取れないかについても含めて、今後検討を進める上でプロ

のコンサルタント業者に対して、今後石巻新庄道路の整備が進むことなどの前提条件や維持管理経費など相当慎重な協議に入らなければならないと考えております。その慎重な協議に入る前提で道の駅の施設はどういうものがあるのかといったことも共有しなければならないと思います。

候補地①しか商工会議所さんの側で考えられないということであれば、この協議会は中断し、国交省からの乗入道路の可否の回答を待たざるを得ないと会長としては考えます。

新庄商工会議所会頭) 私はそれで結構です。

金山町長) 今の件につきまして、今日は山形河川国道事務所の所長さんが参加されていますので見解を教えていただけないでしょうか。

山形河川国道事務所長) 本日候補地が示されたわけですが、あくまで共通の認識を、イメージを持つという意味では、この5つの中から検討を進めていくと考えております。候補地①については、アクセス性が課題になっていることが資料からも分かりまして、我々山形河川国道事務所としても、直接の乗入れということがありましたので、どのような形で接続できるかということはしっかりと検討していきます。話にありましたように高低差ということもありますし、構造的な問題及び交通安全上の課題も検討に入れていかなければいけません。新庄インターチェンジは横軸と縦軸が交差するジャンクションの機能として複雑な形状にあることから、道路利用者の利便性も踏まえて具体的な検討を進めてまいります。

議長・新庄市長) 山形河川国道事務所長さんからも、構造的に複雑であるという意見がありました。それでは、事務局の提案した5つの候補地で進めるということに商工会議所さんは納得しないということですので、委員の皆が納得して進めることが必要であると思います。

また、乗入道路の問題が解決された時も負担割合やどういう形とするか、誰が運営するのかということについては、次回にまた協議するというところでよろしいでしょうか。

新庄商工会議所会頭) 私は、皆さんで候補地①の検討をして頂くと思っております。

議長・新庄市長) 只今、候補地の検討は5つの候補地で進めてよろしいでしょうかとお計らいしたところです。それで商工会議所さんからは①以外考えられないということであれば、②～⑤は検討の余地が無いということになってしまうわけです。候補地①について検討しなければならないことは、自動車専用道路における乗入道路の可否についてですので、国交省からこの道路の乗入れをしていいですよ、ここで進めていいですよというお墨付きをいただかないと次に進められないと認識しております。

新庄商工会議所会頭) そうではなく、ここで皆さんの意思を固めて国に陳情するという形でないとおかしいです。

議長・新庄市長) それは違うと思います。検討するのは①～⑤で検討しなければ、皆さんそれぞれ違う構想をもっており、共通認識をもって取り組むということで進めていきますので、商工会議所さんとして、①以外は考えられないということであれば、国交省にその乗入道路の可否をお聞きした上でその事業が可能かを確認しなければ、次の協議に進めないという認識です。

新庄商工会議所会頭) 官側に対するお願いはしていただけるのですか。

議長・新庄市長) 全体での決定事項ではないので、陳情等はしません。構成員である商工会議所が主張する①について自動車専用道路からの乗入が可能かどうかについて検討を国交省にお願いをするということです。

議長・新庄市長) 事務局で候補地を提案しましたが、委員から候補地①でないと認められないという意見があり、①から⑤の検討協議は出来ないということでもありますので、この先の協議も中断するというところでよろしいでしょうか。

<一同異議なし。>

山形河川国道事務所長) 候補地①については、高規格道路からの乗入れの可能性について持ち帰って検討を進めさせていただきます。この会の方向性として、本日5つの候補地がお示しされたわけですが、この候補地は残したままで複数の検討を進めていくのか、候補地①に絞って検討を進めるのか改めて確認をさせていただければと思います。

議長・新庄市長) 結果として、候補地①が可能となった場合でも工事費の問題やスケジュールなどについても見えてくると思います。そうなった場合に管理運営方式の部分等も含めて次の検討に進めると考えます。そのため、②～⑤の候補地についても同じ議論を行っていくものとして、再度5つの候補地で同じテーブルに乗せた上で比較検討を進めるものと考えますがいかがでしょうか。

<一同異議なし。>

新庄市長) 今回は5つの候補地でもって、コンサル業者にさらに調査をお願いすることを想定しておりましたが、その協議の必要がなくなったことから、本日の議事を閉じさせていただいてよろしいでしょうか。

<一同異議なし。>

6. 閉会